

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) アイチダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) フルカワチトセ
愛知大学	経営学部	古川千歳ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) プッチンプリン	フリガナ) カワイコウタ	4	無
ぷっちゃんぷりん	河合皓大		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

--

研究テーマ（発表タイトル）

日本の食品ロスを減らすには ～宴会の食べ残し～

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

日本だけでなく世界でも深刻な社会問題となっている食品ロスを削減するために、私たちは宴会での食べ残しという観点から研究を進めた。そんな宴会での食べ残しを削減するため、食べきりげんまんスマイルフォトコンテストという地方自治体の運動で、消費者・外食産業・地方自治体を巻き込み、食品ロス問題解決につなげる。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在食品ロス問題は、国連サミットで採択された「SDG s」という国連加盟国が環境問題や飢餓などといった問題を解決するうえで必要となる持続可能な開発目標としてかけられる程大きな社会問題である。

また、日本の食品ロスは年間約 621 万トン発生している。これを事業系と家庭系に分類すると、事業系は約 339 万トンで

家庭系は 282 万トンであり、家庭系よりも事業系の方が多く食品ロスを出している。事業系の中でも、外食産業における「宴会」での食べ残し量が多いという問題がある。

こういった現状から、一部の地方自治体では、食べきりげんまんスマイルフォトコンテストという食べ残し削減の運動を始めており、食品ロスを減らすためにさまざまな取り組みが行われている。

3. 研究テーマの課題

私たちは食べきりげんまんスマイルフォトコンテストの認知度を測るアンケートをとり、認知度が低いという結果が出た。したがって、より多くの食品ロス削減を可能にするためには、食べきりげんまんスマイルフォトコンテストの認知度の向上が課題である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

食べきりげんまんスマイルフォトコンテストの認知度を向上させるために、情報を「拡散・共有・保存」することができる「はてなブックマーク」を、地方自治体が活用するという提案。

このはてなブックマークを活用することにより、従来以上に情報を拡散することが可能となる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

本研究において、アンケート調査を 2 回実施した。

1 回目のアンケート調査の概要

<日時>

10月19日～10月26日

<媒体>

web アンケート

<有効回答数>

150

<目的>

宴会参加者の「宴会での食べ残しに関する意識」を探るため

2 回目のアンケート調査の概要

<日時>

11月11日～現在も実施中

<媒体>

web アンケート

<有効回答数>

53

<目的>

「食べきりげんまんスマイルフォトコンテスト」の認知度を探るため

6. 結果や今後の取り組み

はてなブックマークの活用が食べきりげんまんスマイルフォトコンテストの課題であった認知度の向上につながり、現状以上の宴会での食べ残しを削減することにより、食品ロス減少に貢献できるのではないだろうかというのが、私たちの研究における現段階での結論である。今後の取り組みとしては、私たちの提案が実現可能なものかどうかを地方自治体にヒアリングすることや、食べきりげんまんスマイルフォトコンテストのさらなる認知度・魅力度向上につながる提案の考察、食べきりげんまんスマイルフォトコンテストを全国的に普及させることができる方法の考察を取り組んでいく。

7. 参考文献

「SUNATEC」

<http://www.mac.or.jp/mail/170101/02.shtml>

(最終アクセス日 11月12日)

「食品ロスの現状」

<https://matome.naver.jp/odai/2139443229298968701?&page=1>

(最終アクセス日 11月12日)

「消費者庁」

http://www.caa.go.jp/adjustments/pdf_data/131028_sanko2-5.pdf

(最終アクセス日 11月12日)

「農林水産省」

http://www.maff.go.jp/j/study/syoku_loss/01/pdf/data2.pdf

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/170516.html

(最終アクセス日 11月12日)

「横浜市市民局」

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/kochosodan/kocho/eenq/kekka/26/26-16.html>

(最終アクセス日 11月12日)

「横浜市資源循環局」

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-jigyo/jigyo/tabekiri/>

(最終アクセス日 11月12日)

「もっと！食べきりげんまんプロジェクト」

<https://www.tabekirigenman.jp/>

(最終アクセス日 11月12日)

<http://www.tabekirigenman.jp/2015/photocon.html>

(最終アクセス日 11月12日)

「はてなブックマーク SOMEWRITE」

<https://somewrite.com/pdf/232>

(最終アクセス日 11月12日)

「SocialMediaLab」

<https://gaiax-socialmedialab.jp/post-29857/>

(最終アクセス日 11月12日)

「はてなブックマークヘルプ」

<http://b.hatena.ne.jp/help/entry/spam>

(最終アクセス日 11月12日)

「声掛けで宴会食べ残し4分の1 京都市、飲食店で調査」

<http://www.kyoto-np.co.jp/local/article/20170417000014>

(最終アクセス日 11月12日)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑